

10月6日午後3時発表の予定につき  
それまで取り扱い注意

## 2020年度デミング賞各賞の受賞者について

2020年10月6日

デミング賞委員会(委員長 中西 宏明)は、10月6日(火)14時から経団連会館(東京・大手町)において委員会を開催し、2020年度デミング賞各賞の受賞者を決定しました。

デミング賞委員会  
委員長 中西 宏明

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

デミング賞委員会

(一般財団法人 日本科学技術連盟内)

なかしま のりひこ  
セクレタリー：中島 宣彦

たかとり けん ほら なおこ  
事務局：高取 健、原 奈穂子

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL：03-5378-1212(デミング賞委員会事務局)

携 帯：080-8909-2552(10/6、10/7の連絡先)

FAX：03-5378-1227

E-MAIL：demingprize@juse.or.jp

URL：<http://www.juse.or.jp/deming/> (日)

[http://www.juse.or.jp/deming\\_en/](http://www.juse.or.jp/deming_en/) (英)

## 2020年度(令和2年度) デミング賞 各賞受賞者

2020年度(令和2年度)のデミング賞各賞の審査は、デミング賞委員会の各委員会において本年5月から9月にかけて行われてまいりましたが、本年10月6日開催のデミング賞委員会において以下のとおり受賞者が決定いたしました。

新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、本年度授賞式は、11月11日(水)17時20分から東京・大手町の経団連会館において、受賞者ならびに授与関係者のみで行い、授賞式の様子をライブ配信することで広くご視聴いただく形式とします。

授賞式に引き続き、例年行われていた受賞記念祝賀会は開催を見合わせます。

また、本年はデミング賞創設70年の節目を迎えるにあたり、デミング賞創設70年記念講演会を、授賞式に先立って、11月11日(水)16時05分から、受賞者による受賞報告講演会は、13時30分から同会場で行われます。

### 受賞者

#### 1. デミング賞本賞

ささき しんいち  
佐々木 眞一 氏 トヨタ自動車株式会社 元副社長  
一般財団法人日本科学技術連盟 理事長

(1946年生、73歳)

#### 2. デミング賞

アート金属工業株式会社

いしはら みつのり  
(石原 光章 氏、代表取締役社長)

## 受賞者参考事項

### 1. 2020 年度デミング賞本賞

さ さ き しんいち  
佐々木 眞一 氏 トヨタ自動車株式会社 元副社長  
一般財団法人日本科学技術連盟 理事長

(1946年生、73歳)

#### [受賞理由]

佐々木眞一氏は、1970年北海道大学工学部卒業、同年トヨタ自動車工業（現トヨタ自動車）に入社。一貫して品質関連業務に従事し、2001年取締役、2003年常務役員、2005年専務取締役、2009年副社長、2013年顧問・技監を歴任。この間2014年に日本科学技術連盟理事長に就任し現在に至っている。

佐々木氏は、多くの品質・環境の難問を解決し、「品質を工程で造り込む」思想を具現化する理念・方法論として「自工程完結」を編み出し、トヨタ初の品質専任の専務としてリーダーシップを発揮し、トヨタ及びトヨタグループの品質向上を推進するとともに顧客第一の品質経営体制を強固なものとし「品質のトヨタ」の名を一層高めた。また、日本科学技術連盟理事長として、広く産業界・品質界における思想・方法論の進化に貢献した。さらに、2017年IAQ（国際品質アカデミー）の会員に指名（2021年からの理事長に内定）され、国際的にも多大な貢献をしている。

### 2. 2020 年度デミング賞

#### アート金属工業株式会社

代表者名: 石原 光章 氏 (代表取締役社長)  
所在地: 長野県上田市常盤城 2-2-43  
TEL: 0268-22-3000  
事業内容: 各種内燃機関用ピストン・ピストンピンの製造  
売上高: 約 275 億円  
従業員数: 766 名

#### [受賞理由]

同社は、1917年に創業し、自動車・モーターサイクル・汎用等のピストン、ピストンピンを製造、販売している。主要製品であるガソリンエンジン用ピストンは、年間2,900万個を生産している。2020年3月現在の従業員数は766名、2019年度の売上高は275億円である。

同社は、売上げや利益は順調に推移していたものの、個人の能力に頼る側面が強く、組織的に経営目標・戦略を策定し実現していく力が弱いとの認識に至った。そこで、2011年から本格的にTQMの導入・推進を行ってきた。同社のTQMでは、「組織的顧客価値提供のための中期経営計画、方針管理

の運営による戦略の推進」、「提供すべき価値と有すべき能力を明確にした上でのTQMの推進」、「種々の仕組みを活用した現場日常管理の徹底と現場力強化」などの特徴ある活動を展開している。

その結果、品質不具合の大幅低減、コストの大幅削減、新製品受注数増などに効果が現れ、総売上高は2016年度の243億円から2019年度では275億円に伸長している。また、2019年度の営業利益率は、アイシン精機との経営統合に関わる要因により一時的にマイナスとなる予想であったが、TQMの推進によって様々な改善を行い、プラスとしている。

## 2020年度(令和2年度) 日経品質管理文献賞 受賞者

デミング賞委員会は、本年10月6日開催のデミング賞委員会において2020年度日経品質管理文献賞の受賞者を下記のとおり決定いたしました。

授賞式は、11月11日(水)17時20分から東京・大手町の経団連会館においてデミング賞授賞式とあわせて行われます。

### 受賞文献 1件

「J」SQC選書31

### 戦略としてのクオリティマネジメント これからの時代の"品質"

一般社団法人日本品質管理学会監修

おばら こういち

小原 好一 著

2019年11月：一般財団法人日本規格協会



## デミング賞・日経品質管理文献賞の説明資料

### I. デミング賞とは

1. 「デミング賞」は、統計的品質管理の工業への応用において終戦後、たびたび指導のため来日された米国人故 W.E.デミング博士(1900～1993)の友情と業績を記念し、わが国の品質管理の一層の発展を図るため、日本科学技術連盟によって1951年(昭和26年)に設けられたものであり、今年で創設70年を迎えました。

また、「デミング賞大賞」は、日本科学技術連盟が、1969年(昭和44年)10月東京で開催した世界初の品質管理国際会議を記念し、その意義を永く将来にわたって維持高揚するとともに品質管理の一層の発展をはかるために創設されたものであります。

企業・組織を対象とする「デミング賞」「デミング賞大賞」は、応募した組織について審査が行われ、授賞を決定いたします。

デミング賞委員会の経費は、一般財団法人日本科学技術連盟によって負担されています。

### 2. デミング賞の種類

「デミング賞本賞」、「デミング賞普及・推進功労賞(海外)」、「デミング賞」、「デミング賞大賞」の4つがあります。

### 3. 授賞の対象

賞の種類	賞の概要	対象
(1) デミング賞本賞	1) 総合的品質管理(Total Quality Management、以下TQMという)の研究に関し優れた業績のあった者。 2) TQMの普及に関し優れた業績のあった者。	個人
(2) デミング賞 普及・推進功労賞 (海外)	TQMの普及・推進に関し、優れた業績のあった者。 ただし、候補者は、主たる活動が海外に限定される者に限られる。(原則として3～5年ごとに選考が行われる)	個人 (海外)
(3) デミング賞	経営理念、業種、業態、規模、経営環境にふさわしいTQMが効果的に実施されている応募組織に授与。(年度賞)	企業・組織
(4) デミング賞大賞	デミング賞を受賞した組織のうち、受賞後3年以上を経過しており、受賞後もTQMにおいて優れた成果をあげた応募組織に授与。(年度賞)	企業・組織

## II. 日経品質管理文献賞とは

日経品質管理文献賞は、「TQM」またはそれに利用される統計的手法等の研究に関する文献(数値表やソフトウェアをともなう文献を含む)で、品質管理の進歩、発展に貢献すると認められる優秀なものを表彰するため、日本経済新聞社により、1954年に創設されました。この賞の審査はデミング賞委員会において行われ、デミング賞行事の一環として毎年賞の授与が行われています。

### 推薦または応募の資格

日経品質管理文献賞は、日本語で書かれた文献、または、日本を主たる活動の場としている著者の文献で、次に掲げる文献の作成者に授与されます。

- a) 「TQM」またはそれに利用される統計的手法等の研究に関する文献(数値表やソフトウェアをともなう文献を含む)で、品質管理の進歩、発展に貢献すると認められるものを対象とします。
- b) 対象文献は、原則として、前年の7月1日から当年の6月30日までに公表されたものです。

## デミング賞/デミング賞大賞の累積受賞者(組織)数

### 1. デミング賞本賞

[1951年(昭和26年)以降2020年(令和2年)までの受賞者数] 83名

### 2. デミング賞普及・推進功労賞(海外)

[2009年(平成21年)以降2020年(令和2年)までの受賞者数] 4名

### 3. デミング賞

[1951年(昭和26年)以降2020年(令和2年)までの受賞組織数] 延258組織

#### (a) デミング賞

35組織(うち海外21組織)

※2012年度の賞の名称変更以降の数

#### (b) デミング賞実施賞中小企業賞(1994年まで)38組織

#### (c) デミング賞実施賞事業部賞(1994年まで) 5社5事業部

※1995年からデミング賞実施賞中小企業賞およびデミング賞実施賞事業部賞という名称は廃止され、デミング賞実施賞に一本化されました。

#### (d) デミング賞事業所表彰(2009年まで) 16社20事業所(うち海外3社3事業所)

※2010年からデミング賞事業所表彰はデミング賞実施賞に一本化されました。

#### (e) デミング賞実施賞(2011年まで) 延160組織(うち海外35組織)

※2012年から「デミング賞実施賞」を「デミング賞」に名称変更しました。

### 4. デミング賞大賞

[1970年(昭和45年)以降2020年(令和2年)までの受賞組織数] 延31組織

(再度の受賞組織2組織、海外11組織を含む)

※2012年から「日本品質管理賞」を「デミング賞大賞」に名称変更しました。

### 5. 日経品質管理文献賞

[1954年(昭和29年)以降2020年(令和2年)までの受賞件数] 247文献